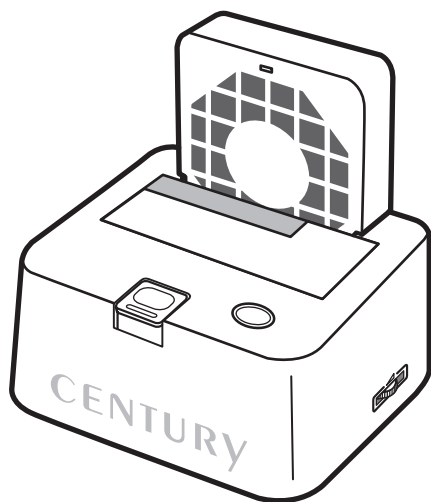


裸族のお立ち台クーリングファン USB3.0&eSATA

CROSEU3FD 取扱説明書





【はじめに】

このたびはCROUSEJ3FDをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

- ・ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
 - ・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。
- 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

 警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
 注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害のない物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

警告

- 煙が出る、異臭がする、異音が出る
煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 機器の分解、改造をしない
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検及び修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 機器の内部に異物や水を入れない
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない
台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。
- 不安定な場所に機器を置かない
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。
- 電源の指定許容範囲を守る
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。
- 電源コード、接続コードの取扱いについて
電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。
- 雷が鳴り出したら電源コードに触れない
感電したり火災の原因となります。
- めれた手で機器に触れない
めれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因となります。

注意

- 設置場所に関する注意事項
以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
 - ・ 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
 - ・ 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しびきのかかるところ
 - ・ 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
 - ・ 火花があたるところや、高温の熱源、炎が近いところ
 - ・ 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
 - ・ 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
 - ・ 機械加工工場など切削油または研削油が立ちあめるところ
 - ・ 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ちあめるところ
 - ・ 直射日光のあたるところ
- 長期間使用しない場合は接続コードを外してください
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。
- 機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください
移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。
- 小さいお子様を近づけない
お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。
- 静電気にご注意ください
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■ もくじ

■ はじめに	i
■ 安全上のご注意	i
■ 制限事項	1
■ ご使用の前に	1
■ 製品仕様	2
■ 製品内容	2
■ 各部の名称	2
■ 対応HDD/SSD	3
■ 対応機種	3
■ 対応OS	4
■ HDD/SSDの取り付け方法	5
■ HDD/SSDの取り外し方法	7
■ PCとの接続方法	8
■ 電源のON/OFFについて	8
■ 電源連動機能について	9
■ 冷却ファンの風量調節ダイヤルについて	10
■ 領域の確保とフォーマット	11
・ Windows 7、Windows Vistaの場合	11
・ Windows XPの場合	17
■ ハードウェアの取り外しについて	21
■ Macでの使用方法	23
■ 東芝製液晶テレビREGZA（レグザ）での使用について	25
■ PlayStation3〈torne〉での使用について	27
■ トラブルシューティング	29
■ FAQ	30
■ サポートのご案内	31

【制限事項】

- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品はSATA HDD/SSD専用です。パラレルATA（IDE）HDD/SSDは使用できません。

【ご使用前に】

- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・Windowsは Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・Macは Apple Inc. の登録商標です。
- ・「PlayStation3」および「torne（トルネ）」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- ・「REGZA」は株式会社東芝の登録商標です。
- ・記載の各商品、及び製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- ・イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- ・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

本製品はHDD/SSD等のSATA機器をむき出しのままPCに接続するための製品です。本来、ケースなどに内蔵して使用するSATA機器を露出したまま通電させることとなりますので、感電等の事故、及びSATA機器へのほこりや水分等の付着には十分ご注意ください。また、静電気も機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。

【製品仕様】

型番：CROSEU3FD
商品名：裸族のお立ち台クーリングファン USB3.0 & eSATA
インターフェイス：【デバイス側】 SATA I / II / 1.5Gbps / 3.0Gbps
【ホスト側】 USB3.0
【eSATA】 SATA II 3.0Gbps

USBコネクタ形状：Standard Bタイプ

冷却ファン：8cm角回転数0～2500rpm（風量調節ダイヤルで調整可能）

寸法：幅134mm×高さ127mm×奥行き100mm（突起部除く）

重量：約500g

温度/湿度：温度5～35℃ / 湿度20～80%

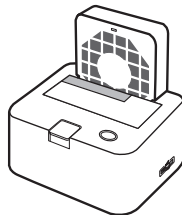
（結露なきこと、接続するPCの動作範囲内であること）

ACアダプター仕様：AC入力/100～240V 0.8A、DC出力/12V 2.5A

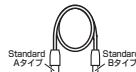
※ 本製品にHDDは付属していません。

【製品内容】

- ・ CROSEU3FD本体
- ・ 専用USB3.0ケーブル
Standard A-Standard Bタイプ
- ・ 専用eSATAケーブル
- ・ 専用ACアダプター
- ・ 専用ACケーブル
- ・ 取扱説明書/保証書



CROSEU3FD本体



専用USB3.0ケーブル



専用eSATAケーブル



専用ACアダプター



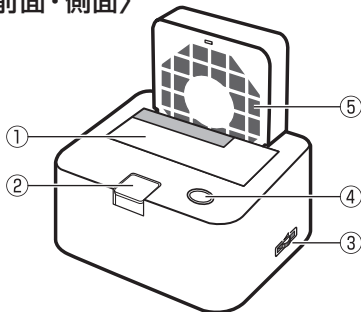
専用ACケーブル



取扱説明書/保証書

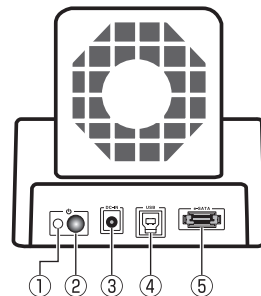
【各部の名称】

〈前面・側面〉



- ① HDD差し込み口
- ② HDD取り出し補助ボタン
- ③ 冷却ファン電源スイッチ
・ ON/OFFスイッチ、風量調節ダイヤル兼用
- ④ ステータス/アクセスLED
・ 電源ON時：青色に点灯
・ HDDアクセス時：青色に点滅
- ⑤ 8cm角冷却ファン

〈背面〉



- ① 主電源LED
・ 電源ON時：オレンジ色に点灯
- ② 主電源スイッチ
- ③ 電源コネクタ
- ④ USB3.0コネクタ
- ⑤ eSATAコネクタ

【対応HDD/SSD】

<HDD>

■ 2.5"/3.5" のSATA HDD (SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

※本製品はSATA HDD専用です。PATA (IDE) HDDは接続できません。

※本製品はSATA 6GbpsのSATA HDDが接続可能ですが、インターフェイス側がSATA3.0Gbpsのため、転送速度は3Gbpsが上限となります。

※3TBまでのHDDで動作確認を行っております (2011年2月現在)。

対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。

<SSD>

■ 2.5" SATA SSD (SATA II/3.0/3.0Gbps/6Gbps)

※PATA、1.8インチ、ZIFコネクタ、3.3V駆動および特殊形状 (ASUS Eee PCの内蔵SSD等) のSSDは接続できません。

※5V駆動のものに限ります。

【対応機種】

<eSATA接続>

■ eSATA I/Fを備えたPC/AT互換機およびMac

<USB接続>

■ Windows

- ・USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB3.0モード動作時)
- ・USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB2.0モード動作時)
- ・CPUクロック 2GHz / メインメモリ 1GB以上

※intelチップセット搭載モデル推奨

※SIS7000/7001/7002. PCI to USB Host Controller 搭載PCIは、USB Host Controllerの問題で正常に動作しない可能性があります。

■ Mac

- ・USB2.0インターフェイスボードを搭載したMacPro、iMac、MacBook、MacBookPro

※PowerPC 搭載のMacintoshは動作保証外になります。

■ 東芝REGZA ※製品の構造上、ほこり等に弱いため、常設して録画する用途には向きません。

- ・録画用USBポートを搭載したREGZA (レグザ) 9000シリーズ以降のモデル

※録画機能を搭載していないモデルではご使用できません。

※録画で使用する際にはHDDを専用形式でフォーマットするため、PCおよびPlayStation3との共用はできません。

あらかじめご了承ください。

※使用するHDDによっては正常に録画できない場合がありますので、常用する前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生のテストを行ってください。

■ PlayStation3 ※製品の構造上、ほこり等に弱いため、常設して録画する用途には向きません。

- ・torne (トルネ)

※録画で使用する際にはHDDをFAT32形式でフォーマットする必要があります。

※FAT32フォーマットには、PCとの接続およびFAT32フォーマットを行うソフトウェアが必要になります。弊社ではFAT32フォーマットを行うソフトウェアの提供は行っておりません。あらかじめご了承ください。

※使用するHDDによっては正常に録画できない場合がありますので、常用する前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生のテストを行ってください。

※本製品は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのライセンス製品ではありません。

【対応OS】

<Windows>

■ Windows7 (32bit/64bit) / WindowsVista (32bit/64bit) / WindowsXP (32bit)

※Windows Updateにて最新の状態にしてご使用ください。

※Windows 95 / Windows98 / Windows 98SE / Windows 3.x / Windows NT / Windows Meでは動作しません。

<Mac>

■ Mac OS 10.5.8、10.6.6 (2011年2月現在)

※ 製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

電源連動機能について

本製品の電源連動機能は、お使いのPCによっては使用できない場合があります。
その際は電源連動機能を使用せず、手動で電源ON・OFFを行ってください。

SATA HDDの取り扱いについて

HDDの保護のために、未使用時は本製品からHDDを取り外して保管してください。
SATA HDDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDDの着脱保証回数が設定されています。
この回数を超えるとHDDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDや内蔵用SSDをケースに入れず、剥き出し＝裸のまま手軽に使用することを想定して作られています。しかし、内蔵用HDDや内蔵用SSDは本来とてもデリケートな精密機器です。

特に静電気やホコリに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDD/SSDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDD/SSDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願い致します。

デリケートな
裸族を
守るのう!



【HDD/SSDの取り付け方法】

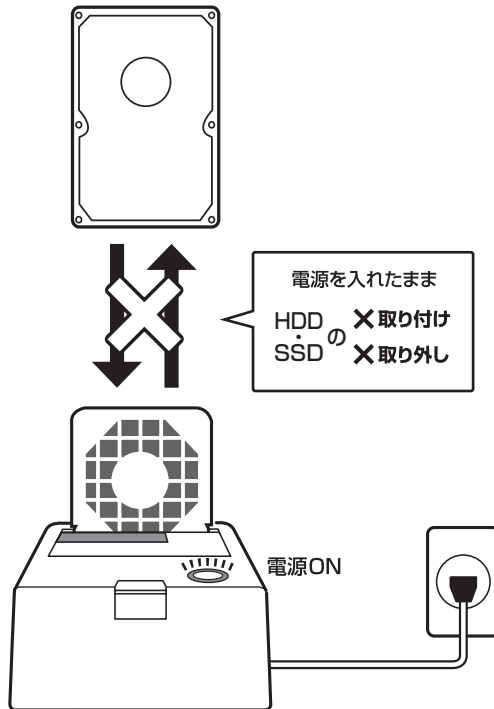
■ HDD/SSD接続の前に

- ・HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

⚠ 警告

■ 接続及び電源投入の順序にご注意ください！！

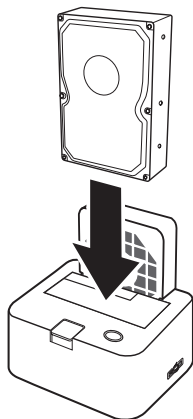
- ・本製品はまずHDD/SSDを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。
 - ・本製品のための接続、または電源投入後の抜き差し（ホットスワップ）には対応しておりません。
- ※上記のような接続及び電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したHDD/SSDの故障をまねく可能性があります。



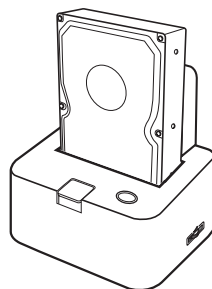
※本製品はSATA HDD/SSD専用です。PATA (IDE) HDD/SSDの取り付けはできません。

■ 3.5" HDDの取り付け方法

1. HDDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で本製品にゆっくり差し込みます。

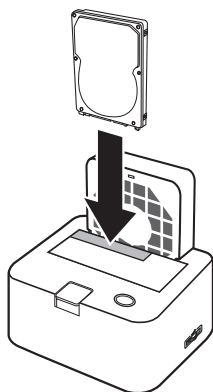


〈完成図〉

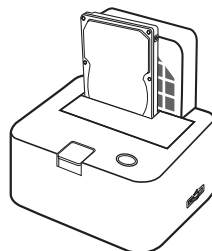


■ 2.5" HDDの取り付け方法

1. HDDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で本製品の2.5" HDD用切り欠き部分にゆっくりと差し込みます。



〈完成図〉



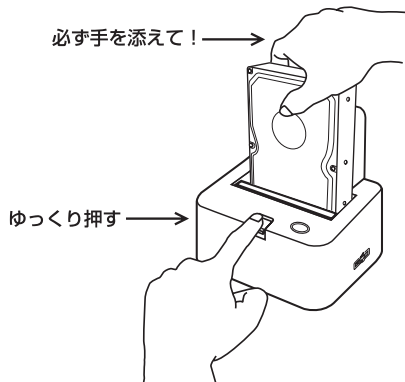
■ 注意！

HDD/SSDを装着する際は、HDDの向きとSATAコネクタの位置に注意してゆっくり差し込んでください。ちからまかせに押し込むと破損や故障の原因となります。

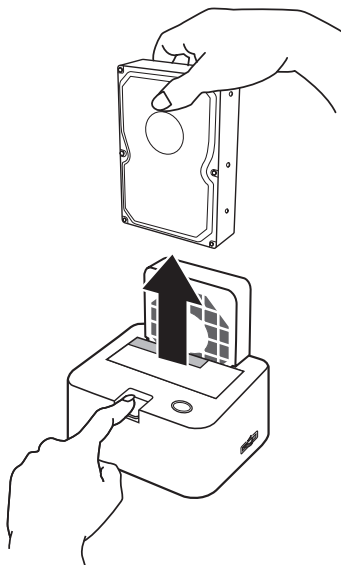
【HDD/SSDの取り外し方法】

※本製品はSATA HDD/SSDのホットスワップには対応していません。
HDD/SSDを取り外す際は、必ず電源をOFFにしてから行うようにしてください。

1. HDDに手を添えながら、HDD取り出し補助ボタンをゆっくり押します。



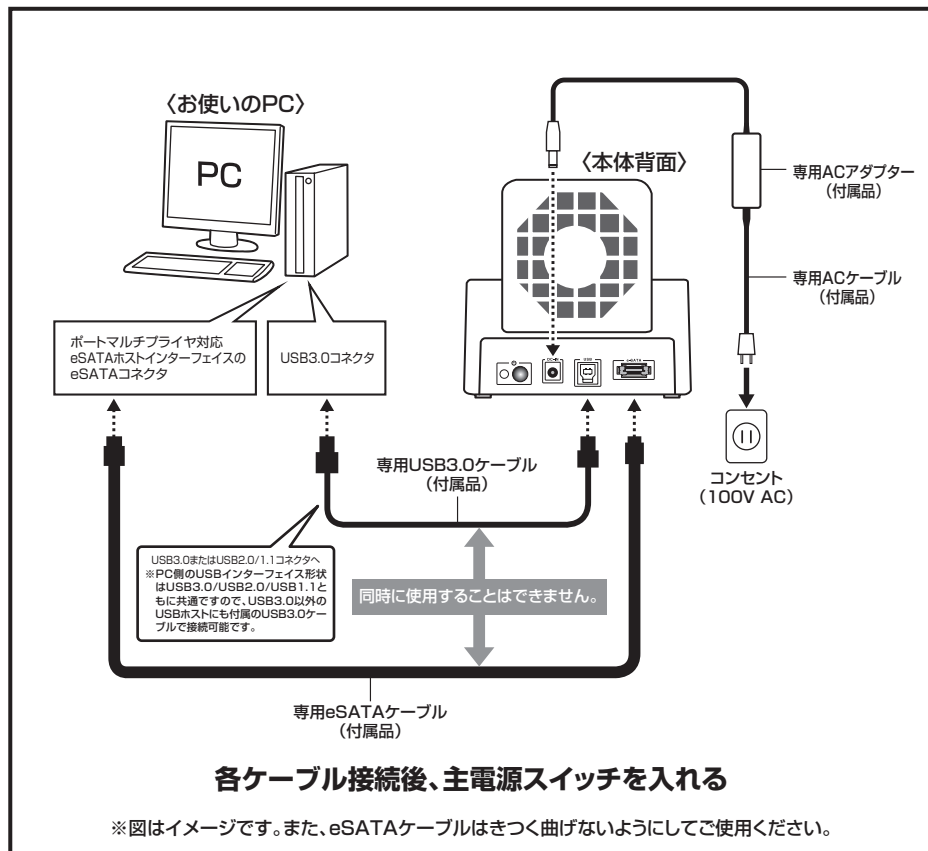
2. ボタンを押すと、HDDがせり出しますのでゆっくりと垂直にHDDを取り外します。



■ 注意!

HDD/SSDを取り外す際は必ずHDD/SSDに手を添えて行ってください。
手を添えずに取り外しを行うと、HDD/SSDのコネクタを破損するおそれがあります。

【PCとの接続方法】

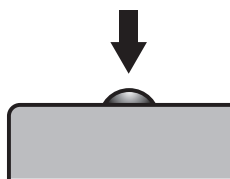


【電源のON/OFFについて】

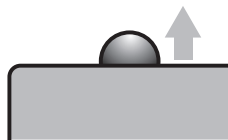
主電源スイッチは押しボタン式です。突出した状態から一度押してON、もう一度押せば元に戻りOFFになります。各ケーブルを接続する前にOFFになっていることをご確認ください。

本製品には通常の電源ON/OFFの他に、PCの起動・終了に合わせて本製品の電源を自動的にON/OFFする「電源連動機能」を搭載しています。詳しくは9ページ【電源連動機能について】をご参照ください。

主電源スイッチ ON

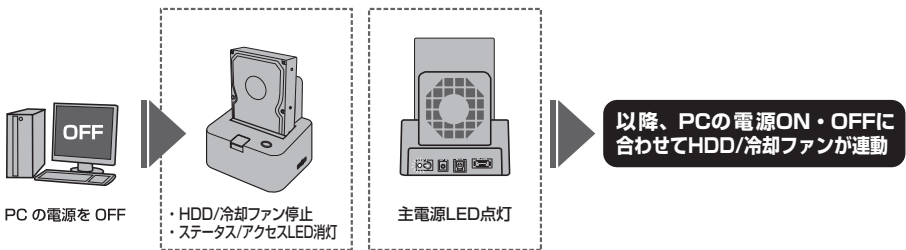


主電源スイッチ OFF



【電源連動機能について】

PCの電源をOFFにすると、本体上面のステータス/アクセスLEDが消灯し、HDDと冷却ファンの回転が停止します。このとき主電源スイッチ脇の主電源LEDはオレンジ色に点灯しつづけます。以降、PCの電源ON・OFFに合わせてHDDと冷却ファンが回転・停止するようになります。



※HDD/SSDの抜き差しを行う際は必ず主電源をオフに行ってください。

主電源がオンの状態でHDD/SSDの抜き差しを行うと、データが消失、または破損する可能性があります。

※本機能はPCからの信号を感知してHDDと冷却ファンの回転を制御するため、常時3W程度の電力を消費します。長時間ご使用されない場合は、本製品の主電源をOFFにしてください。
また、本製品の電源連動機能はお使いのPCによってはご使用できない場合がございます。その際は電源連動機能を使用せず、手動で電源ON/OFFを行ってください。

■ PC電源オフ時の本製品の電源連動機能について

PCの電源がオフの状態、本製品の電源をONにすると、

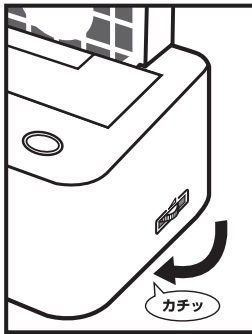
- ・「電源スイッチ横の主電源LEDがオレンジ色に点灯」
- ↓
- ・「ステータス/アクセスLEDの点灯とともにHDDと冷却ファンが10秒程度回転」
※風量調節ダイヤルで冷却ファンの回転を停止している場合は回転しません。
- ↓
- ・「ステータス/アクセスLEDが消灯、HDDと冷却ファンの回転が停止」
します。



PCの電源をオンにすると、ステータス/アクセスLEDが点灯し、HDDと冷却ファンが回転します。

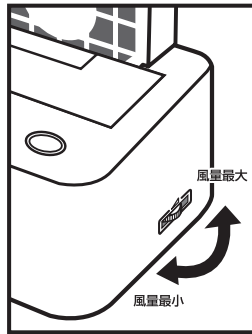
【冷却ファンの風量調節ダイヤルについて】

本製品に搭載されている冷却ファンのON/OFFおよび風量は、側面の風量調節ダイヤルでコントロールできます。



<冷却ファンを OFF にする>

ダイヤルを手前に回し切り、「カチッ」という音がすれば冷却ファンの回転が停止します。



<風量を調節する>

ダイヤルを手前に回すと冷却ファンの風量が少なくなり、奥に回すと風量が多くなります。

【領域の確保とフォーマット】

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

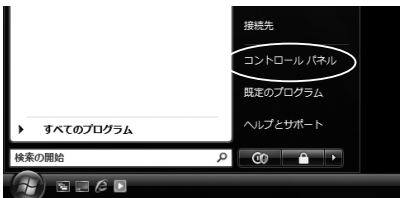
※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

□ Windows 7、Windows Vistaの場合

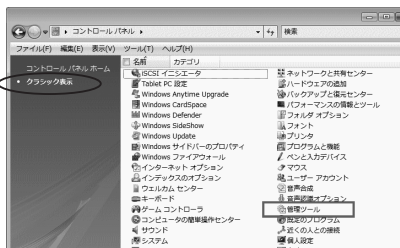
1.



【コントロールパネル】 → 【表示方法：小さいアイコン】 → 【管理ツール】 (Windows 7)

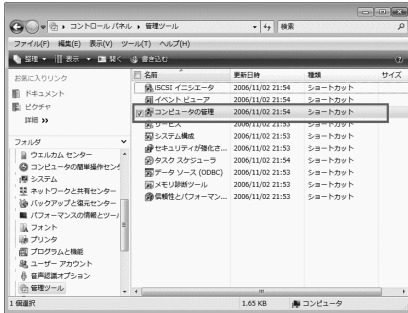


【コントロールパネル】 → 【クラシック表示】 → 【管理ツール】 (Windows Vista)



※コントロールパネルを開いても【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.



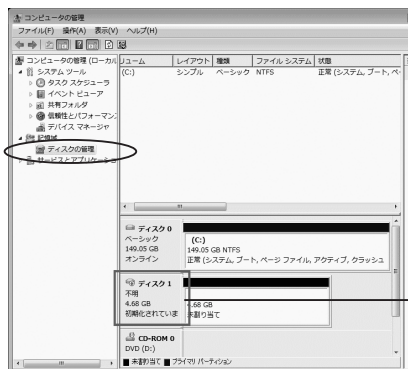
【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制限】ウィンドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。

続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。

システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

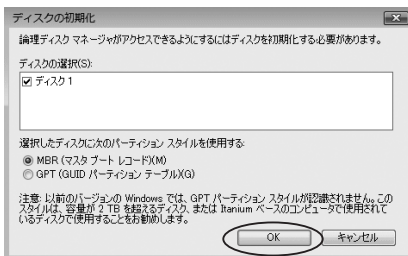
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)

プロパティ(P)

ヘルプ(H)

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いがないかを確認して【OK】をクリックします。

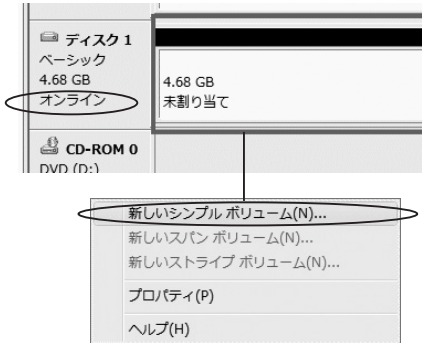
※パーティションスタイルについて

パーティションスタイルに関しては2TB以上の容量を扱う場合以外は、MBR形式を使用することをおすすめします。

GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

【領域の確保とフォーマット】

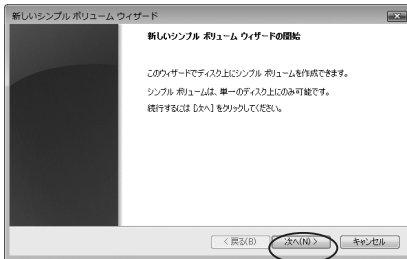
5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

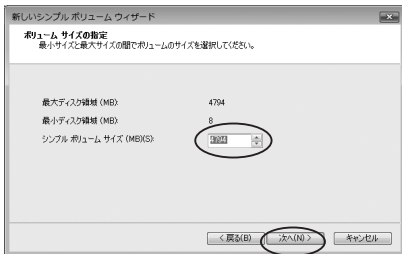
ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



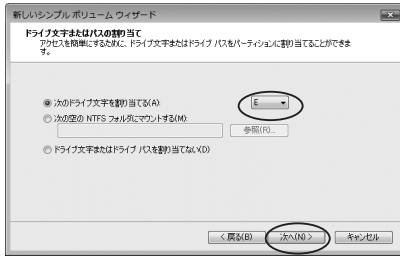
【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。MB (メガバイト) 単位でボリュームサイズを指定します。ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。設定したら【次へ】をクリックします。

8.



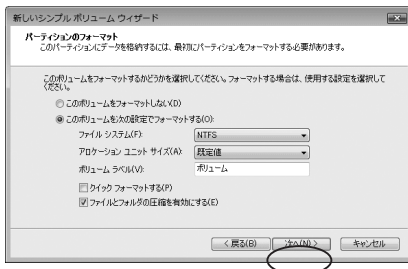
【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

- ・ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

- ・アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で問題ありません。

- ・ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

- ・クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

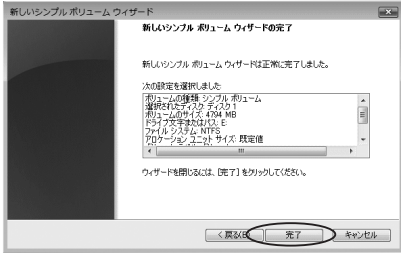
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

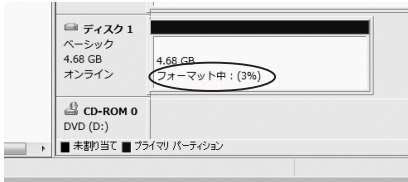
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されま

11.



これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示され

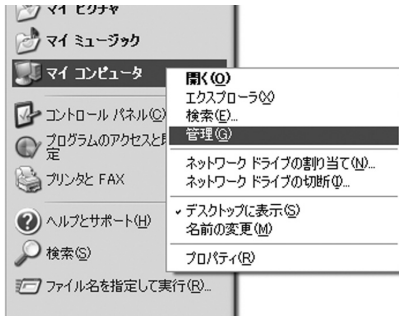
ます。フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になりま

【領域の確保とフォーマット】

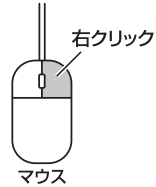
□ Windows XPの場合

注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

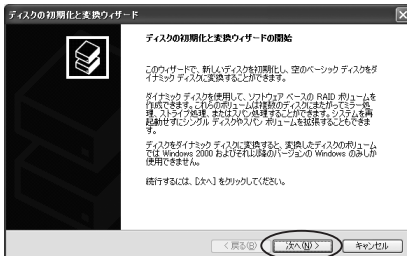
1.



スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。

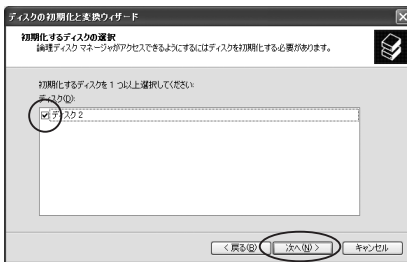


2.



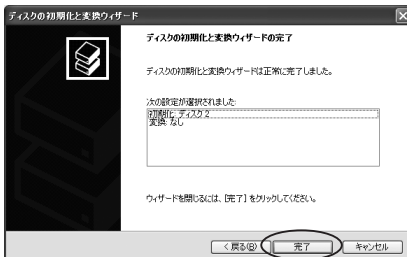
「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

3.



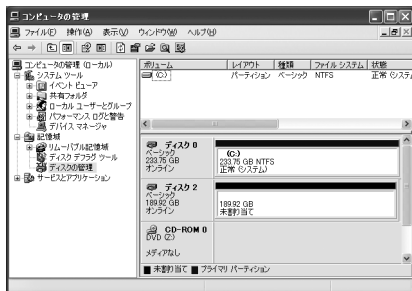
「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.



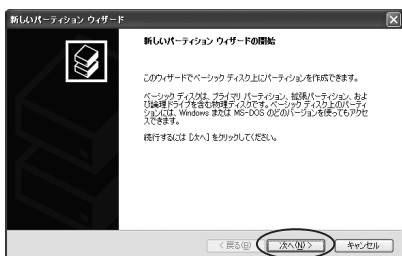
「ディスクのアップグレードと署名ウィザード完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

5.



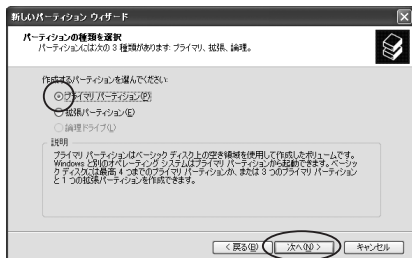
次にパーティションの作成を行います。「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成(P)..」を選択します。

6.



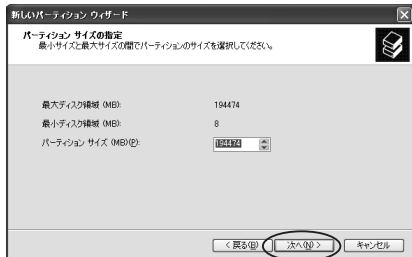
「パーティション作成ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

7.



「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されます。「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。
※1つのディスクを5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

8.

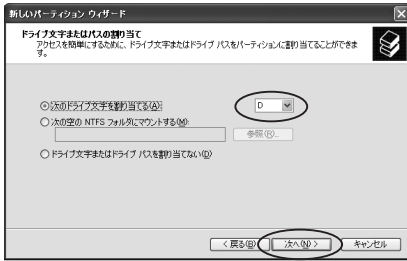


「パーティションサイズの指定」ウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」を繰り返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

【領域の確保とフォーマット】

9.



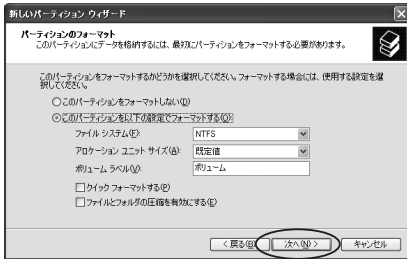
【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

10.



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

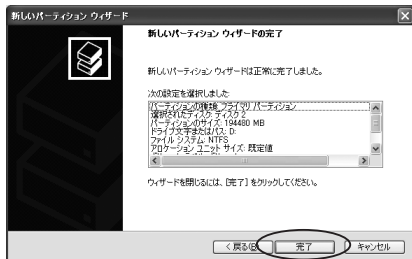
- ・使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。

※ Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

- ・アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
- ・ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
- ・クイックフォーマットする
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をペリファイしませんが、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様のファイルの読み書き速度の低下を招くようです。
詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

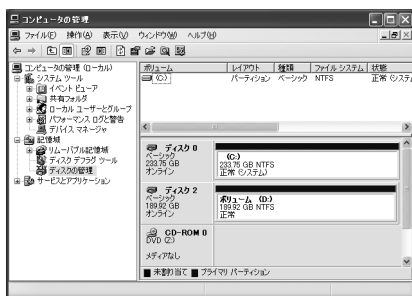
すべて設定して「次へ」をクリックします。

11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックして閉じます。

12.



フォーマットが開始されます。「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

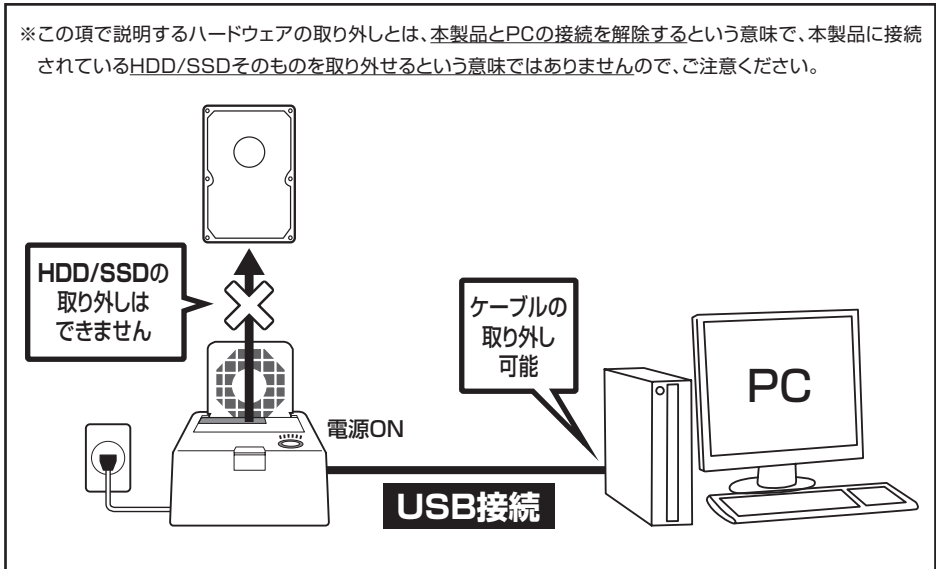


フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。フォーマット中は、コンピュータや本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、PCの電源を切った状態で行ってください。



1. 本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。デバイス名は以下のように表示されます。
 - Windows XP …… USB大容量記憶装置デバイス
 - Windows Vista …… USB大容量記憶装置
 - Windows 7 …… USB to ATA / ATAPI Bridge
2. 取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
電源を切ってケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。
「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

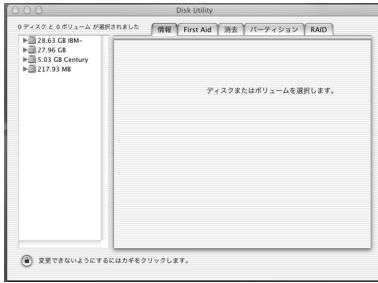
【Macでの使用方法】

MacOS XではMacOS標準のドライバを使用します。

※あらかじめMacOS9.xで初期化された物は、フォーマットせずに使用可能です。

MacOS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。

1.



「Disk Utility」を起動します。

※「Disk Utility」は、アプリケーション>Utilityの中にあります。

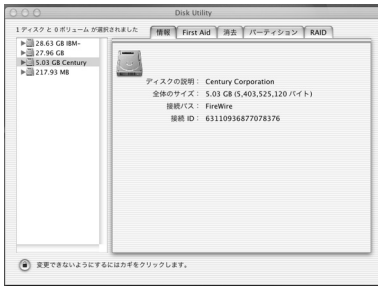
左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。

本製品は「xx GB Jmicron Corp. Media」と表示されます。

(xxは接続したHDDの容量)

これをクリックして選択します。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。パーティション設定を変更できます。

ボリュームの方式

：作成するボリューム数を選択します。

8つまで分割して作成することが可能です。

ボリューム

：メディアの分割状況が表示されます。

ボリューム情報

：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

名前

：作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

フォーマット

：作成するボリュームのフォーマットを選択します。MacOS標準、MacOS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。通常はMacOS標準かMacOS拡張を選択してください。

サイズ

：作成するボリュームのサイズを変更できます。

オプション

：MacOS9ディスクドライバをインストールチェックをすると、MacOS9で動作するドライバをインストールします。

分割

：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

削除

：選択されているボリュームを削除します。

元に戻す

：直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。

警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

【東芝製液晶テレビREGZA（レグザ）での使用について】

本製品は東芝製液晶テレビ「REGZA（レグザ）」の録画用外付けHDD/SSDとして使用できます。

⚠ 注意

～ご使用の前に～

- ・本製品をREGZAで使用する際、組み込まれたHDD/SSDはREGZAの録画専用として初期化されます。PC等のデータが入っているHDD/SSDを使用する場合は、必ずバックアップを行ってから使用してください。
- ・本製品はREGZA R9000シリーズでテストを行い、正常に録画・再生ができることを確認していますが、組み込んだHDD/SSDによっては正しく動作しない可能性があります。継続的なご使用の前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生等が問題なく動作することを確認してからのご使用を強くおすすめします。
- ・何らかの不具合が発生して録画ができなかった内容の補償、録画されたデータの損失およびこれらに関する直接、間接の損害につきましては、弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■ 接続方式

USB接続 ※eSATA接続はサポート外です。

■ 対応機種

REGZA 9000シリーズ

※REGZA自体に録画機能がないモデルには対応しません。

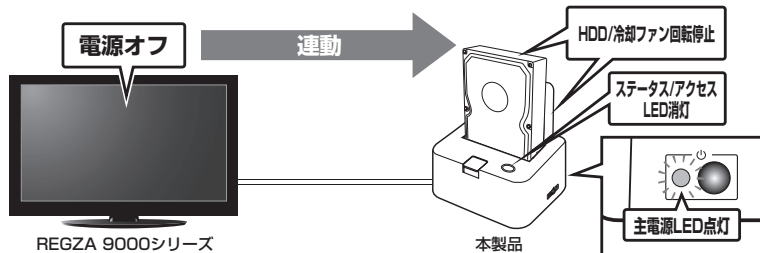
接続方法



※録画設定については、お手持ちのREGZAの取扱説明書をご確認ください。

電源オン/オフ時の本製品の動作について

- ・REGZAの電源オフになると、連動してHDD/冷却ファンの回転が停止します。
 - ・REGZAの電源をオンにすると、連動してHDD/冷却ファンが回転します。
- ※風量調節ダイヤルで冷却ファンの回転を停止している場合は回転しません。

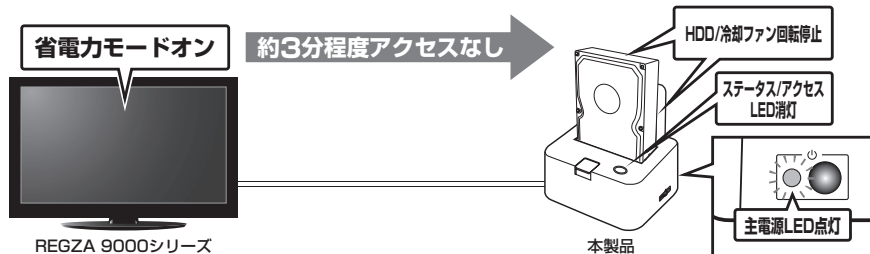


省電力モード時の本製品の動作について

REGZAの省電力モードをオンで本製品を使用すると、一定時間（約3分程度）アクセスがない場合、HDDと冷却ファンの回転が停止します。この時本製品のステータス/アクセスLEDは消灯します。

- ・録画やHDDの設定を開始すると、HDDの動作が再開します。

※HDDの動作が停止していても待機電力を消費しますので、長時間ご使用にならない場合は主電源を切り、取り外すことをおすすめします。



〈録画時間の目安〉

画質モード/容量	320GB	500GB	1TB	2TB
地上デジタルHD (最大20Mbps)	34時間	53時間	106時間	212時間
BSデジタルHD (最大24Mbps)	28時間	44時間	88時間	116時間
SD画質 (最大8Mbps)	84時間	131時間	262時間	524時間

【PlayStation3<torne>での使用について】

本製品をPlayStation3に接続して、地上デジタルレコーダーキット「torne（トルネ）」の録画用HDDとして使用できます。

必ずお読みください

■ 録画で使用する場合のHDDのフォーマット形式について

- ・本製品をPlayStation3およびtorneの録画用HDDとして使用する際、あらかじめHDDをFAT32形式でフォーマット（初期化）する必要があります。PlayStation3はフォーマット機能を持たないため、フォーマットを行うにはPCとの接続が必要になります。
また、フォーマットを行うとHDDの内容はすべて消去されますので、既にデータが入っている場合は必ずバックアップを行ってからフォーマットを行ってください。
- ・Windows PCの標準フォーマット機能では32GB以上のHDDのFAT32フォーマットができない（Windows XP）、またはFAT32フォーマットそのものできない（Windows Vista / Windows 7）ため、別途FAT32フォーマットを行うソフトウェアが必要になります。
弊社ではフォーマットソフトウェアの提供を行っておりませんが、インターネットの検索エンジンで「FAT32フォーマットソフト」等で検索をすると、FAT32フォーマットソフトウェアが表示されますので、それらをご使用の上、FAT32フォーマットを行ってください。
※フォーマット方法等はご使用のソフトウェアのマニュアルやヘルプをご参照の上、行っていただきますようお願いいたします。
- ・Mac OS搭載のMacの場合、標準のディスクユーティリティで「MS-DOS（FAT）」を選択して初期化を行うことでFAT32フォーマットが可能です。

△ 注意

～ご使用の前に～

- ・本製品をPlayStation3およびtorneの録画に使用する際、組み込まれたHDDをFAT32形式でフォーマットする必要があるため、REGZAとの共用はできません。PCとの共用は可能ですが、内容の混乱を避けるためにも、機器別にHDDを分けてご使用することをおすすめします。
- ・本製品で使用できるHDDの最大容量は1台あたり2TBになります。
- ・本製品は弊社にてPlayStation3（CECH-2000A）およびtorne（Ver 2.10）でテストを行い、正常に録画・再生ができることを確認していますが、組み込んだHDDによっては正しく動作しない可能性があります。
継続的なご使用の前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生等が問題なく動作することを確認してからのご使用を強くおすすめします。
- ・何らかの不具合が発生して録画ができなかった内容の補償、録画されたデータの損失およびこれらに関わる直接、間接の損害につきましては、弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■ 接続方式

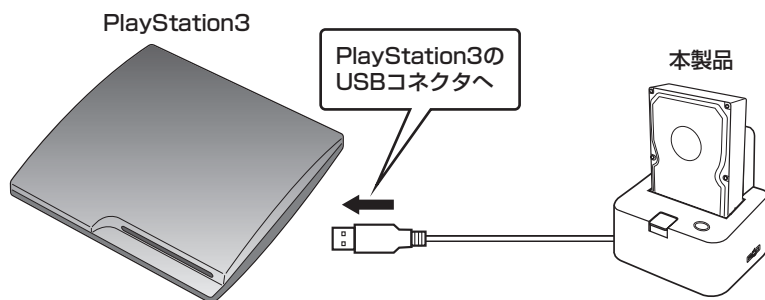
- ・ USB接続

■ 対応機種

- ・ PlayStation3 (CECH-2000Aにて動作確認済み)
- ・ torne (Ver 2.10)

■ 接続方法

下図のようにPlayStation3と本製品を接続します。



※録画設定については、お手持ちのPlayStation3およびtorneの取扱説明書をご確認ください。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな？」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■ 認識されない

以下の点をご確認ください。

- ・ 接続ケーブル、ACケーブルが正しく接続されているか
- ・ eSATA I/F接続の場合、正しくドライバがインストールされて動作しているか

■ USB3.0接続時にUSB2.0として認識してしまう

本製品の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。

本製品の電源はOFFの状態でごケーブルを接続し、主電源スイッチをONにしてください。

■ eSATA接続時、Windowsが起動後に接続すると認識されない

eSATAのホストアダプタの仕様やモード設定によっては、パソコンの起動時に本製品を接続しておかないと認識できない場合があります。お使いのeSATAホストアダプタの仕様をご確認ください。

また、マザーボードのeSATAポートを使用している場合、BIOS上でSATAの動作モードがIDE互換モードになっていると、Windows起動後の接続ができません。

この場合は〈AHCIモード〉に変更することで改善する可能性があります。

※ システムの起動HDDと本製品が同じSATAホストに接続されている状態でモード変更を行うと、Windowsが起動しなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ eSATA接続だと認識するが、USB接続だとマイコンピュータにアイコンが表示されない (Windows)

ダイナミックディスク形式でHDDを初期化していないかご確認ください。

USB接続の場合はスタンダード形式のみ使用可能です。

■ WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本製品のHDDが表示されない

eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうか異なります。

詳しくはお使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。

また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってはデータの破損等につながる場合がありますので、弊社ではおすすめしていません。

■ 2TBを超えるRAIDボリュームを初期化しようとする2TBで分割されてしまう (Windows Vista / Windows 7)

MBR形式の場合、1パーティションの上限が2TBまでとなります。

GPT形式にて初期化することで2TB以上のパーティションを作成することが可能です。

■ 主電源ONの状態でも冷却ファン電源スイッチをOFFからONにするとHDDの認識が外れてしまう

状態によっては発生してしまう場合がございます。認識が外れてしまう場合は、あらかじめ冷却ファン電源スイッチをONにしてから本製品の主電源スイッチをONにしてください。

【FAQ】

Q：使用できるHDDの最大容量は？

A：3TB（テラバイト）までとなります。（2011年2月現在）

Q：カードリーダーのようにHDD/SSDを抜き差しして使うことは可能ですか？

A：残念ながらできません。本製品はあくまでドライブアダプターですので、電源を切った上で抜き差しをする必要があります。

電源を入れた状態でHDD/SSDを抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本製品並びにHDD/SSDを故障させる可能性があります。
--

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。

HDD/SSD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDD/SSDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：OSの起動は可能ですか？

A：eSATA接続でかつ、ホストがeSATA起動可能である場合のみ使用できます。ただし、すべての環境でのOS起動を保証するものではありません。

※USB接続でのOS起動はサポート対象外とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市とよふたおきなはら十余二翁原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしく願いいたします。

～弊社商品につきますてのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチューリーおよびセンチューリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.